日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	作品研究2

科目基礎情報

開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	講義
教科書/教材	基本的に毎回、映像・音源資料を視聴。その他参考資料等は、必要に応じて授業中に紹介。				

担当教員情報

担当教員	広瀬眞之	実務経験の有無・職種	有・プレイヤー、コンポーザ、プロデューサ

学習目的

受講学生は「最高の娯楽エンタテインメントのひとつであるポピュラーミュージック」を、その各時代の構成要素を時系列的に整理整頓し直すことによりその全体像の分析把握を可能にする。また表面に現れた音楽事象だけでなく、その社会背景への理解を深める。

到達目標

受講学生がポピュラーミュージックの全体像を理解把握する過程を経ることで、人間社会との密接な関係性やさらにはマーケットの変遷・動向にも意識を向けられるようにする。

教育方法等

授業概要	この授業では、なるべく多くの参考資料としての映像・音源を視聴することで具体的な授業を進める。基本的には講義形式で行うが、一方通行に終始することなく、学生個々の思考を促すために随時問いかけと返答という授業中での行動を通して、学生の積極的思考を醸成していく。
注意点	この授業では、先ずは未知の情報に対して積極的な興味を持つこと。そして講義を通して紹介解説される事象に対して各自考察・意見形成していくことに留意して欲しい。授業時数の4分の３以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価方法	種別	割合	備考
	試験・課題	70%	試験結果による評価
	小テスト	0%	
	レポート	0%	
	成果発表（口頭・実技）	0%	
	平常点	30%	授業態度による評価

授業計画（１回～１５回）

回	授業内容	各回の到達目標
1回	アナログ黄金時代２～細分化するロック	音楽産業黄金の1970年代到来。その基本的な把握とカテゴリー発展を知る
2回	アナログ黄金時代３～ソウルからファンクへ	Rockの発展形態の分析把握。カテゴリーの細分化現象や様式美の完成、U.S.A.やU.KRockの展開を知る
3回	アナログ黄金時代４	よりブラックに！Funkの出現。その特徴と社会背景を知る
4回	アナログ黄金時代５	成熟する音楽。AORサウンドの発展を知る
5回	デジタル時代の幕開け	HipHopの出現とビート感の変化。デジタル時代とは？
6回	革新と混沌の1980年代１	レコード盤からCDディスクへ。技術革新がもたらした新時代の基本的な把握
7回	革新と混沌の1980年代２～ヴィジュアル時代の到来	ホームビデオ普及による音楽シーンの変革を確認理解
8回	革新と混沌の1980年代３	技術革新が貢献したアンプラグドブームの把握
9回	サブカルからメインストリームへ１	HipHop、Rap…アンダーグランドジャンルの浮上現象と時代性を基礎的に理解
10回	サブカルからメインストリームへ２	PC時代の本格的到来とデジタル機器の発展がもたらした新たなサウンド世界の基礎分析
11回	ミレニアム時代の音楽１	PC時代の本格的到来とデジタル機器の発展がもたらした新たなサウンド世界の基礎分析続編
12回	ミレニアム時代の音楽２	国内編では前回まで学んで得た時系列に対応させて理解を深めていく。１回目は1960年代前半までの国内音楽シーンの基礎的知識を習得。
13回	国内編１～歌謡曲からGSブームへ	1960年代前半から半ば過ぎまでのシーンを分析。国内編では特に前回までの時系列に対応させて理解を深める
14回	国内編２～模倣から個性へ	フォークソングブーム到来、現在に続くシンガーソングライティング時代の始まりを理解
15回	国内編３～バブル時代からミレニアムへ	国内特殊事情としてのバブル時代からバブル後の音楽シーンへの流れの分析と把握。そして現在へと繋がる流れを確認する